

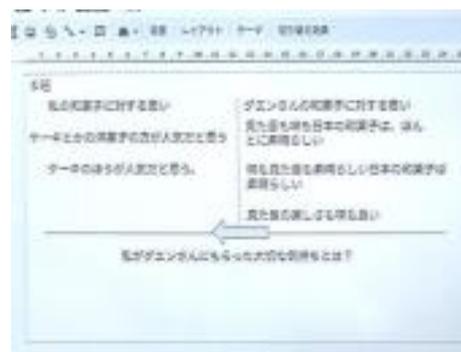
学年・教科	小学校第5学年 特別の教科 道徳
単元（教材）名	おおきに、ありがとう
単元の目標	「日本の和菓子はすばらしい」と言われ、大事な気持ちに気付く「わたし」の姿を通して、日本の伝統や文化について考えさせ、受け継がれている我が国の伝統や文化を尊重し、さらに発展させていこうとする心情を育てる。

【個別最適な学びの場面】

導入の場面で Google Form を使用していました。

「和菓子と洋菓子のどちらが好きか」を尋ね、アンケート回答結果の円グラフを児童に見せることにより、主人公と自分の思いの共通点や相違点に気付かせ、その後の話し合い活動に役立てる工夫が見られました。

終末でも、Google Form の活用により、考えの深まりの度合いや気付きなど、児童一人一人が自分なりの言葉で振り返り、まとめることができました。



【協働的な学びの場面】

小グループの話し合いの場面では、2名の登場人物の和菓子に対する思いについて、Google スライドで思考ツールを共有して考えを出し合いました。

リアルタイムで記入された情報に対して教師対児童、児童対児童で「どうして？」と問い返し、自分の考えを伝え合っていました。

Google スライドは Jamboard よりもやや動作が重く、途中スライドが消えてしまうトラブルがありました。が、班内で共有した意見を児童が覚えており、全体で交流することができていました。



道徳科では、答えが1つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え、「考え、議論する道徳」への転換により、道徳性を養うことが求められています。

本単元では、導入・展開・終末のそれぞれの場面において端末を適切に活用することで、話し合いへの関心・意欲を高めたり、他者の考えに触れ、考えを共有したりすることができていました。